

**新潟市みどりと森の運動公園体育施設等
平成 29 年度 自主事業報告書**

事業名	1, スポーツ事業
<p>[1] 実施状況（実施日時・利用人数等）</p> <p>会 期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日 延べ参加者：：498 人（おとな 235 人、こども 263 人） 回 数：23 コマ 報 告：http://www.spofit.jp/nishi/midorimori-sports-park/ http://spofit.cocolog-nifty.com/</p> <p>① イベント・セミナー 公園の活用を目的に、市民対象のノルディックウォーキングセミナーを年に 6 回開催した。 西区のこどもを対象にした BC リーグ公式戦無料ご招待イベントや、子どもを対象とした サッカークリニックを実施した。 ※ 参照) http://www.spofit.jp/nishi/midorimori-sports-park/schedule.html</p> <p>② 地域活動 子育て支援センター「ほほえみ」・黒埼なかよし保育園・黒埼地区公民館・坂井輪児童館 など地域の団体と連携し、スポーツおよびフィットネス関連のセミナーを区内各所で実施 した。 西区野球連盟と共催で「中学生を対象とした硬式野球教室」（※今年度は、悪天候により 管理施設での開催予定分は全ての日程が中止となった。）を開催した。また、西区野球連盟 と体育施設整備ボランティア活動をおこなった。 ※ 参照) http://www.spofit.jp/nishi/midorimori-sports-park/schedule.html</p> <p>③ 他（※ 実施状況報告に含まない） 西区 CUP 運営実行委員会の実行委員として、「学童軟式野球大会」「U-8 ミニサッカーフェ スタ」「軟式野球ナイターリーグ」を実施した。 ※ 参照) http://www.spofit.jp/nishi/nishi-ward-cup/</p> <p>[2] 目的の達成状況 グループの持つコンテンツを最大限に活かし、ノルディックウォーキング・野球・サッカー・ 子育て支援などのセミナーを実施し好評であった。 施設管理に関するボランティア活動も市民と協働で実施し目的を達成した。 また、自主事業を実施することで施設使用料として、32,250 円を市に納入し、歳入の増加に 貢献することができた。</p> <p>[3] 利用者の反応・満足度と今後の対応 次年度は、より多くの方々に参加していただけるように、プログラムバリエーションを増や したいと考える。また、グループの持つコンテンツを最大限に活かし地域連携活動を積極的に</p>	

おこなう。

[4] 収支決算

別紙「収支報告書（自主事業会計）」参照

事業名

2, サービス事業

[1] 実施状況（実施日時・利用人数等）

会 期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

利 用：コピー108 枚、F A X 8 枚、ラインパウダー16 袋、ストーブ 24.0 時間

[2] 目的の達成状況

大会・イベント開催団体を中心にご利用いただき目的を達成した。

[3] 利用者の反応・満足度と今後の対応

ラインパウダーについては、多目的グラウンドでの大会・イベント開催団体の用意したラインパウダーが足りなくなるケースがあり好評だった。

[4] 収支決算

別紙「収支報告書（自主事業会計）」参照

事業名

3, 自動販売機の設置事業

[1] 実施状況（実施日時・利用人数等）

会 期：平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

■ 設置について

みどりと森の運動公園体育施設 自動販売機 10 台設置（屋内 3 台・屋外 7 台）

黒埼地区野球場 自動販売機 1 台設置（屋外 1 台）

新潟市公有財産規則第 29 条第 1 項の規定により、行政財産の使用許可を申請し設置している。設置場所等については、市と協議の上決定している。

■ 特記事項

売上の一部を、新潟アルビレックス・ベースボール・クラブの活動資金に充てる販売機を 1 台設置している。

手数料収入の全額を、「認定 NPO 法人ハートリンクワーキングプロジェクト（小児がん支

援プロジェクト)」および「新潟市身体障害者福祉協会連合会」の活動資金に充てる販売機を各1台設置している。

■「指定管理業務会計」への充当

指定管理者応募時の提案通り、「自主事業会計（自動販売機の設置事業）」の手数料収入のうち、400,000円を「指定管理業務会計」へ充当し、指定管理費の軽減に努めた。

[2] 目的の達成状況

両施設において、近隣で飲料を販売していないため、利用者の利便性が向上している。

手数料収入のうち、400,000円を「指定管理業務会計」へ充当し、指定管理費の軽減という目的を達成できた。

また、自主事業を実施することで行政財産使用料として、26,440円を市に納入し、歳入の増加に貢献することができた。

[3] 利用者の反応・満足度と今後の対応

利用者の利便性が向上し、指定管理業務会計経費削減にも繋がっているため、今後も販売を継続したいと考える。

[4] 収支決算

別紙「収支報告書（自主事業会計）」参照